

5 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、第15表のとおり、病院、水道、工業用水道及び流域下水道の4事業の経営を行っています。

企業会計予算の総額は、713億9,180万円となり、前年度の696億1,767万2千円に比べ、17億7,412万8千円、2.5%増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較	
			増減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
病院事業	7,574,877	7,521,390	53,487	0.7
水道事業	20,676,799	20,682,385	△5,586	△0.0
工業用水道事業	15,296,409	14,468,686	827,723	5.7
流域下水道事業	27,843,715	26,945,211	898,504	3.3
合計	71,391,800	69,617,672	1,774,128	2.5

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 700床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	156,147人	428人
外来患者数	118,015人	490人

イ. 収益的収支 収入 5,586,695千円 資本的収支 収入 1,310,674千円

支出 5,844,916千円 支出 1,729,961千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が27億4,352万5千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が28億4,317万円で、合わせて55億8,669万5千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が57億2,150万1千円、支払利息等の医業外費用が1億2,341万5千円で、合わせて58億4,491万6千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、2億5,822万1千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債4億5,890万円や県費負担金4億5,177万4千円など、合わせて13億1,067万4千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費4億6,641万5千円や企業債償還金7億9,054万6千円など、合わせて17億2,996万1千円を計上しています。

ウ. 令和8年度の事業運営

令和8年度は、それぞれの県立病院が引き続きその役割・機能を果たしていくため、経営方針や取組をまとめた「三重県病院事業 中期経営計画」に基づき、県民の皆さんの求める医療の着実な推進や健全な病院経営に取り組んでいきます。

- ・ 県立こころの医療センターにおいては、政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供、訪問看護やデイケア等の地域生活支援、精神分野における災害医療
- ・ 県立一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケア人材の育成のほか、予防医療の提供や地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携
- ・ 県立志摩病院においては、指定管理者と密接に連携しながら、地域の医療ニーズをふまえた診療機能の維持・充実

などに取り組み、県立病院として役割を果たしていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）により、水道用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 75,590,150m³

1日平均給水量 207,096m³

イ. 収益的収支	収入	9,799,462千円	資本的収支	収入	5,544,150千円
	支出	10,448,204千円		支出	10,228,595千円

収益的収入は、給水収益89億205万6千円及びその他営業収益を合わせた営業収益89億633万6千円と長期前受金戻入8億2,423万2千円等の営業外収益8億9,312万6千円です。

収益的支出は、人件費、動力費、減価償却費等の営業費用102億5,785万2千円と支払利息等の営業外費用1億8,835万2千円が主なものです。

以上の結果、9億3,487万3千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債40億円と他会計出資金9億3,814万8千円が主なものです。

資本的支出は、中勢水道改良費等の建設改良費91億6,373万4千円、企業債償還金等の償還金10億6,486万1千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、中勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R8	283,722	283,722	既設設備の改良
北勢水道改良事業	R8	3,088,176	3,088,176	既設施設の改良
中勢水道改良事業	R8	4,334,795	4,334,795	既設施設の改良
南勢水道改良事業	R8	1,396,286	1,396,286	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 96社
- (イ) 年間総給水量 207,997,030m³
- 1日平均給水量 569,855m³

イ. 収益的収支 収入 7,211,275千円 資本的収支 収入 3,559,137千円
 支出 6,806,754千円 支出 8,489,655千円

収益的収入は、給水収益65億3,552万2千円及びその他営業収益を合わせた営業収益68億5,120万円と長期前受金戻入3億1,454万6千円等の営業外収益3億6,007万5千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用65億1,643万6千円と支払利息等の営業外費用2億8,831万8千円が主なものです。

以上の結果、1億2,965万1千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債27億1,800万円と他会計出資金3億2,790万2千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費71億8,442万2千円と企業債償還金等の償還金12億523万3千円が主なものです。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R8	252,773	252,773	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	R8	5,599,553	5,599,553	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	R8	251,684	251,684	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	R8	872,509	872,509	既設施設の改良

(4) 流域下水道事業会計

流域下水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町及び川越町を対象とした北勢沿岸流域下水道（北部処理区、南部処理区）、津市、松阪市及び多気町を対象とした中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区、雲出川左岸処理区、松阪処理区）、伊勢市、明和町及び玉城町を対象とした宮川流域下水道（宮川処理区）により、公共用水域の水質汚濁防止や生活環境の改善等を目的に、汚水処理を行っています。

ア. 業務の予定量

年間総処理水量 92,647,000m³

1日平均処理水量 253,827m³

イ. 収益的収支 収入 15,525,347千円 資本的収支 収入 11,714,463千円
支出 15,524,866千円 支出 12,318,849千円

収益的収入は、維持管理負担金収益77億3,696万3千円の営業収益と、長期前受金戻入72億3,714万6千円等の営業外収益77億8,838万4千円です。

収益的支出は、処理場費、減価償却費等の営業費用148億194万5千円と、支払利息等の営業外費用7億2,242万1千円が主なものです。

以上の結果、1億1,440万7千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債26億6,610万円、補助金70億2,450万7千円、負担金20億2,385万6千円です。

資本的支出は、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業等の建設改良費90億2,907万5千円、企業債償還金32億8,977万4千円です。

ウ. 主な建設改良計画

南部処理区では、流入水量の増加に合わせ、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業において、汚泥処理施設の増設工事を実施しています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
国補北勢沿岸流域下水道（北部）建設事業	R8	2,332,968	2,332,968	更新・長寿命化対策、地震対策
国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業	R8	2,187,638	2,187,638	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策
国補中勢沿岸流域下水道（志登茂川）建設事業	R8	350,280	350,280	処理施設の増設、施設浸水対策
国補中勢沿岸流域下水道（雲出川左岸）建設事業	R8	2,075,167	2,075,167	更新・長寿命化対策、地震対策
国補中勢沿岸流域下水道（松阪）建設事業	R8	1,484,700	1,484,700	更新・長寿命化対策、地震対策、施設浸水対策
国補宮川流域下水道（宮川）建設事業	R8	91,602	91,602	幹線管渠の延伸、更新・長寿命化対策、施設浸水対策

一口メモ

- 収益的収支… 当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支… 住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。